

他機関が実施する調査データ分析結果報告

報告年月 令和 2 /03 (第 14 回)

長浜商工会議所

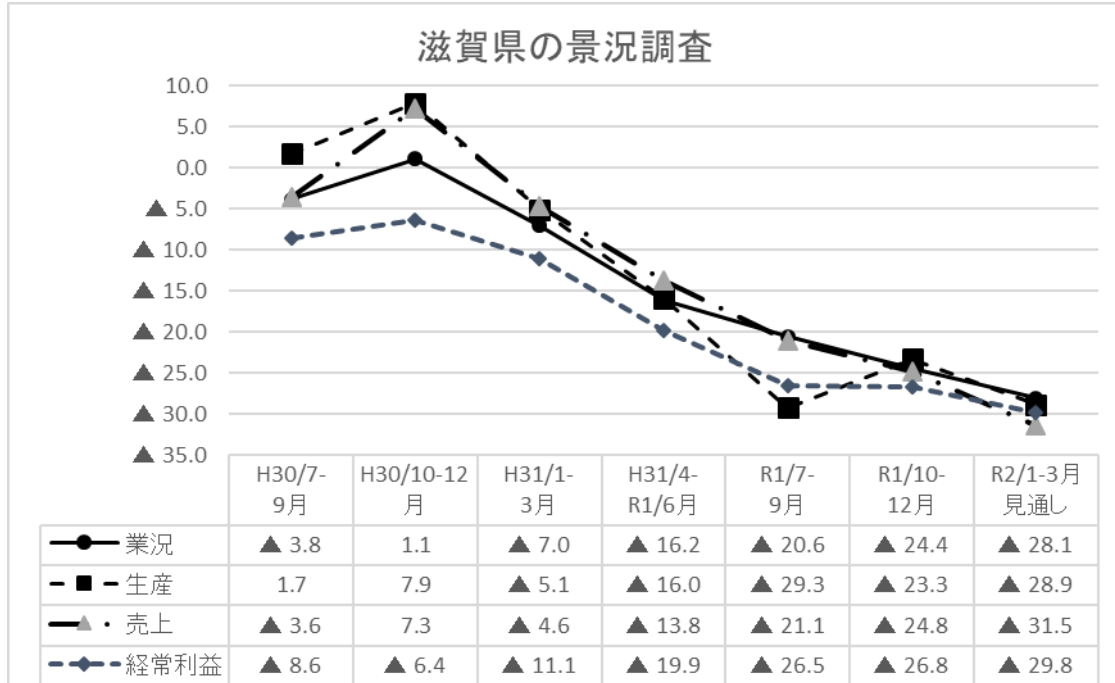
出典

- 滋賀県景況調査報告書(滋賀県商工政策課編)
- 県内経済概況((株)しがぎん経済文化センター編)
- 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)
- 地方経済動向(近畿)(内閣府編)

(本資料は上記出典をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる)

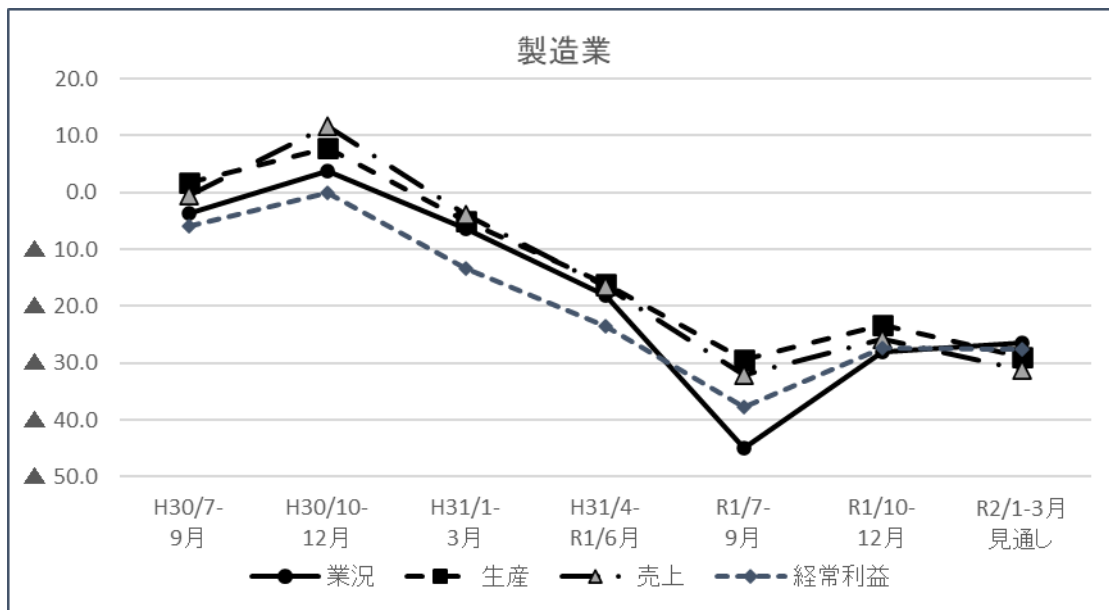
1. 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

① 滋賀県の景況調査（R1/10-12月実績、R2/1-3月見通し）

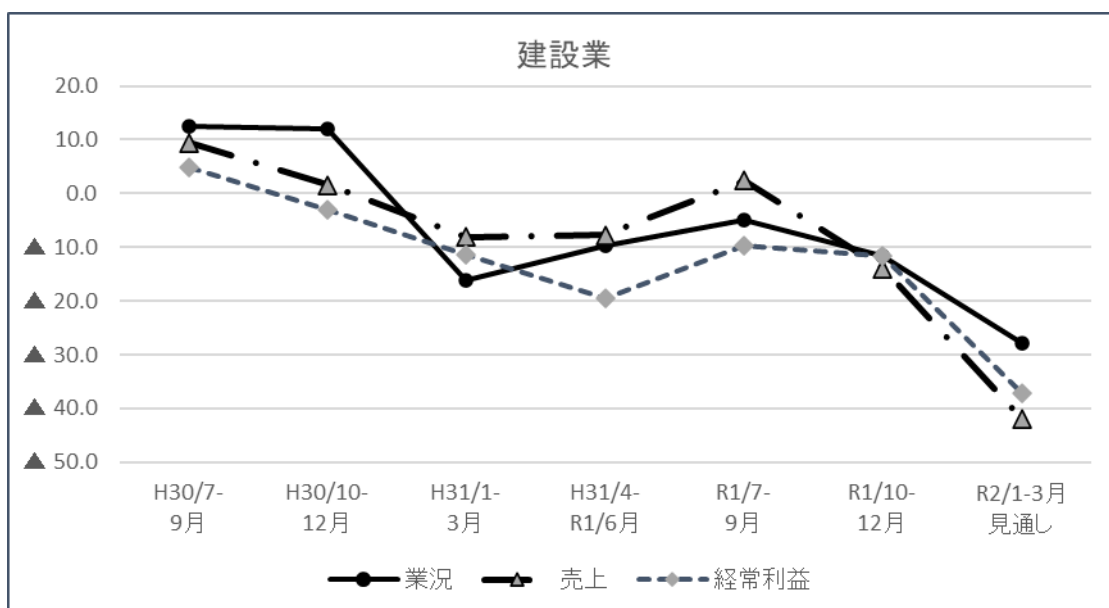


滋賀県内企業のコメント（R1/10-12月）	
【プラスの判断をした企業】	
・	繊維系は中国景気の影響を受けるが、電子材料系は好調。（化学繊維製造業）
・	生産品目の拡大により増加傾向にある。（印刷インキ製造業）
・	今期はオリンピック関連受注が上乘せとなっていたが、来期はリセッションが予想される。（建築金物製造業）
・	警備需要が多く、単価アップの追風もあり業務拡大が見込める。（警備業）
【マイナスの判断をした企業】	
・	得意先からの受注が減ってきている。米中貿易摩擦の影響等。（金属部品製造業）
・	消費税10%以降、受注が大きく落込んでいる。（陶器用上薬製造業）
・	中国景気の悪化で受注、売上減。（資材織物製造業）
・	米中貿易摩擦の影響が大きい。（電気工事建設業）
・	消費税増税の影響が徐々に現れる。（建設資材卸売業）
・	消費税の駆け込みはなかったが落込みはあった。（自動車販売小売業）
・	消費税増税の影響があり売上額は減少している。（宝飾品小売業）
・	大手企業による価格競争激化。（機械器具小売業）
・	暖冬による暖房用燃料販売量の減少。（燃料小売業）
・	県外のホテル増加の影響がある。（ホテル・宿泊サービス業）
・	中国景気悪化の影響で得意先の生産が停滞中。運送量が減少している。（一般貨物運送事業）
・	対米、対中の貿易取引に見通しがつかず、悪化傾向であると感じている。（業務請負サービス業）
【その他】	
・	米中貿易摩擦を主因とする電子部品の世界市況悪化の影響は継続中。5G関連市場に期待も全体としては受注・売上ともに微増の見通し。（電子部品機械器具製造業）
・	人材不足により新規の仕事を取りに行けない。（土木建設業）
・	消費税増税の影響が読めない。（電気機械器具卸売業）
・	賃金上昇と増税により、先行き不安。（警備サービス業）
・	物流費のコスト増により利益減少。（倉庫サービス業）
・	インターネットの普及による価格競争により苦戦。（自動車電装品修理サービス業）
・	消費税増税により、今後荷動きが悪くなると思われる。（運送サービス業）

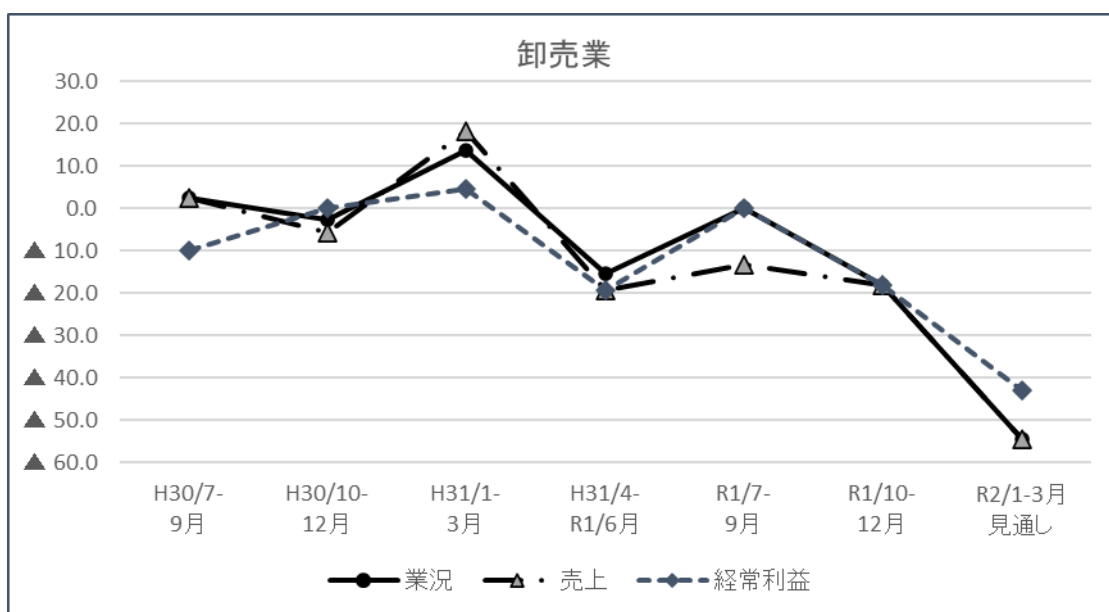
② 滋賀県企業の業種別景況調査



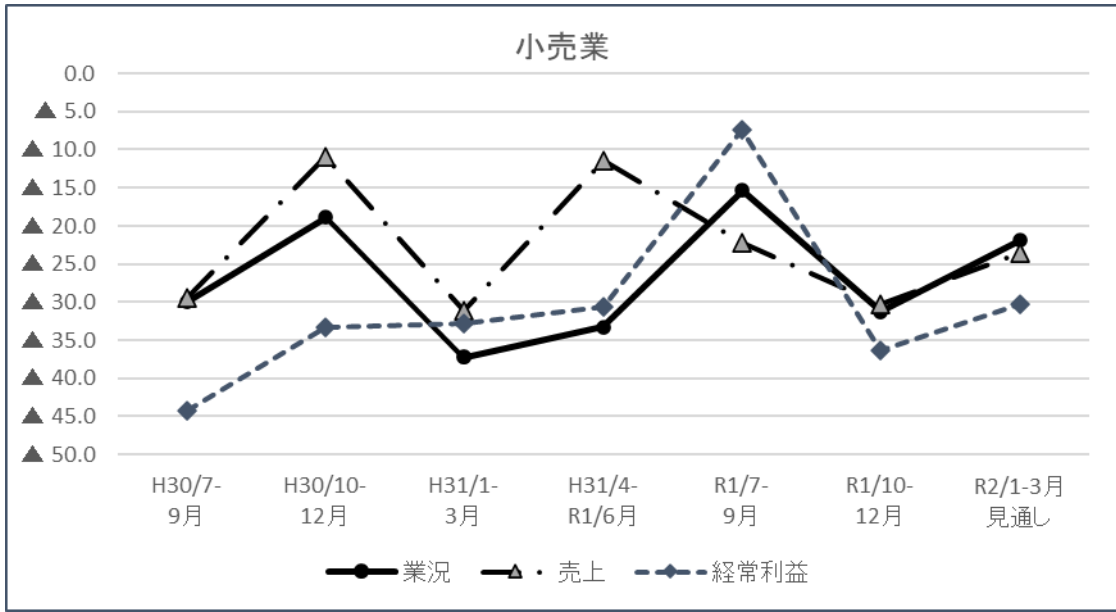
製造業	H30/7-9月	H30/10-12月	H31/1-3月	H31/4-R1/6月	R1/7-9月	R1/10-12月	R2/1-3月見通し
業況	▲ 3.6	3.7	▲ 6.4	▲ 18.1	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.5
生産	1.7	7.9	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 28.9
売上	▲ 0.6	11.6	▲ 3.8	▲ 16.6	▲ 32.0	▲ 25.7	▲ 31.2
経常利益	▲ 5.9	0.0	▲ 13.3	▲ 23.6	▲ 37.8	▲ 27.4	▲ 27.6
傾向	×	●	×	×	×	●	●
回答社数	310	299	350	217	184	189	189



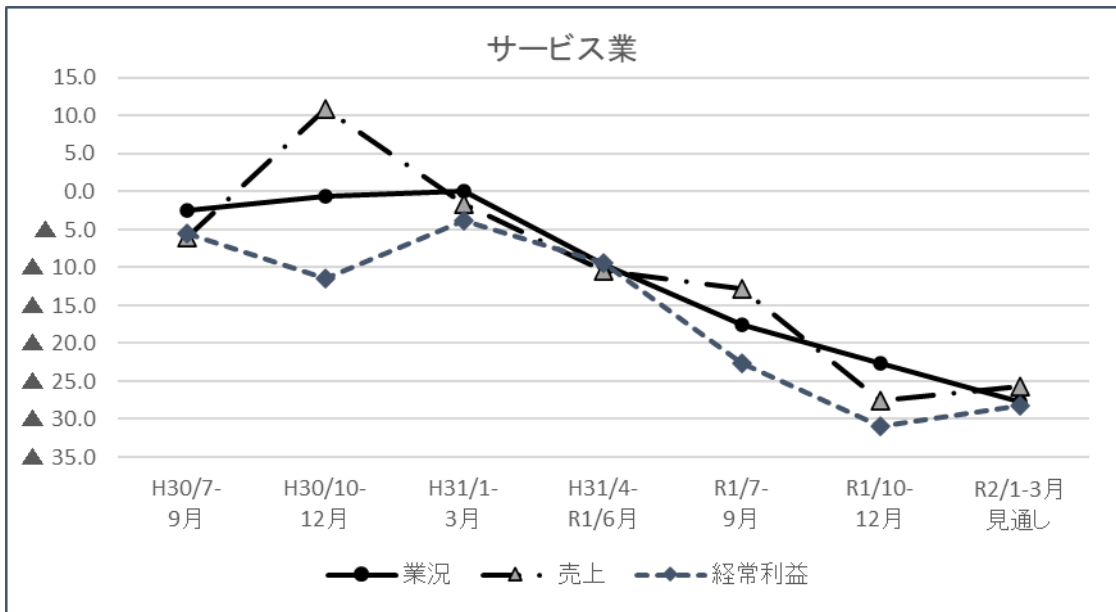
建設業	H30/7-9月	H30/10-12月	H31/1-3月	H31/4-R1/6月	R1/7-9月	R1/10-12月	R2/1-3月 見通し
業況	12.5	12.1	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 27.9
売上	9.5	1.5	▲ 8.1	▲ 7.8	2.4	▲ 14.0	▲ 41.9
経常利益	4.8	▲ 3.0	▲ 11.3	▲ 19.6	▲ 9.8	▲ 11.6	▲ 37.2
傾向	×	▲	×	●	●	×	×
回答社数	66	68	64	51	42	45	45



卸売業	H30/7-9月	H30/10-12月	H31/1-3月	H31/4-R1/6月	R1/7-9月	R1/10-12月	R2/1-3月 見通し
業況	2.4	▲ 2.7	13.6	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 54.5
売上	2.4	▲ 5.6	18.2	▲ 19.2	▲ 13.3	▲ 18.2	▲ 54.5
経常利益	▲ 10.0	0.0	4.7	▲ 19.2	0.0	▲ 18.2	▲ 42.9
傾向	×	×	●	×	●	×	×
回答社数	45	41	45	27	17	21	21

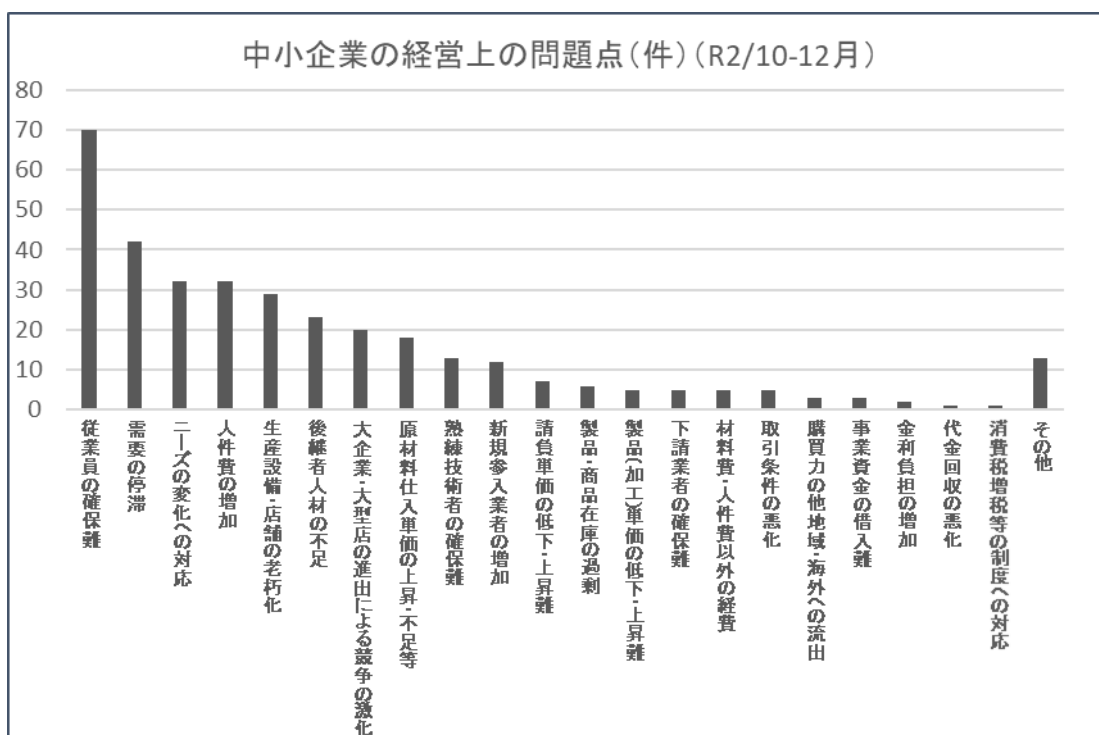


小売業	H30/7-9月	H30/10-12月	H31/1-3月	H31/4-R1/6月	R1/7-9月	R1/10-12月	R2/1-3月見通し
業況	▲ 30.0	▲ 18.9	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 21.9
売上	▲ 29.5	▲ 10.9	▲ 31.1	▲ 11.4	▲ 22.2	▲ 30.3	▲ 23.5
経常利益	▲ 44.3	▲ 33.3	▲ 32.8	▲ 30.6	▲ 7.4	▲ 36.4	▲ 30.3
傾向	×	●	×	●	●	×	●
回答社数	64	56	65	37	29	36	36



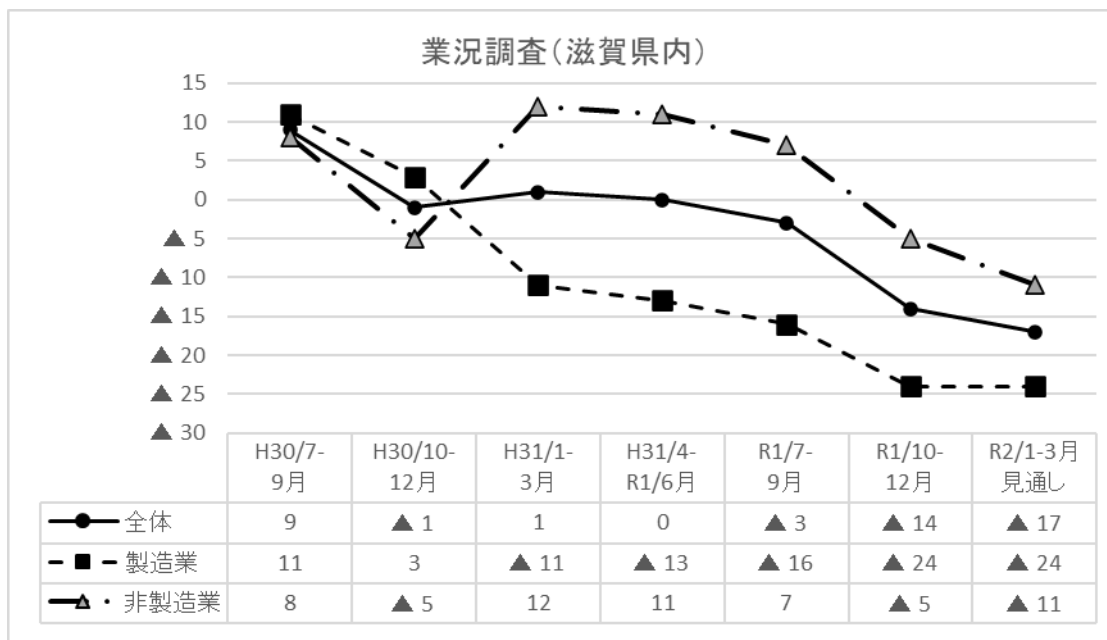
サービス業	H30/7-9月	H30/10-12月	H31/1-3月	H31/4-R1/6月	R1/7-9月	R1/10-12月	R2/1-3月 見通し
業況	▲ 2.5	▲ 0.6	0.0	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 27.7
売上	▲ 6.1	10.9	▲ 1.6	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 27.5	▲ 25.7
経常利益	▲ 5.5	▲ 11.4	▲ 3.8	▲ 9.4	▲ 22.6	▲ 30.9	▲ 28.3
傾向	×	●	●	×	×	×	×
回答社数	175	181	197	97	99	115	115

③ 中小企業の経営上の問題点（県内調査）



2. 県内経済概況(株しがぎん経済文化センター編)

① 県内業況調査 (R1/10-12月実績、R2/1-3月見通し)



景況感は3四半期連続かつ大幅マイナス					
	回答社数	R1/7-9月	R1/11-12月	傾向	R1/11-12月見通し
製造業	135	▲ 16	▲ 24	×	▲ 24
繊維	14	▲ 31	▲ 57	×	▲ 36
木材・木製品	8	▲ 33	▲ 13	●	▲ 50
紙・パルプ	4	▲ 40	50	●	50
化学	8	▲ 36	▲ 25	●	▲ 43
石油・石炭	—	—	—	—	—
窯業・土石	8	20	▲ 25	×	▲ 38
鉄鋼	—	—	—	—	—
非鉄金属	—	—	—	—	—
食料品	9	▲ 11	▲ 33	×	22
金属製品	17	▲ 11	▲ 18	×	▲ 24
一般機械	12	33	8	×	8
電気機械	12	▲ 31	▲ 25	●	▲ 33
輸送用機械	—	—	—	—	—
精密機械	6	▲ 43	▲ 50	×	▲ 67
その他	28	▲ 12	▲ 32	×	▲ 22
非製造業	161	7	▲ 5	×	▲ 11
建設	48	29	15	×	0
不動産	11	▲ 20	27	●	0
卸売	29	9	▲ 7	×	▲ 25
小売	16	▲ 26	▲ 50	×	▲ 33
運輸・通信	10	9	▲ 20	×	▲ 10
電気・ガス	—	—	—	—	—
サービス	31	6	0	×	▲ 3
リース	—	—	—	—	—
その他	14	0	▲ 36	×	▲ 14

② 県内景気天気図

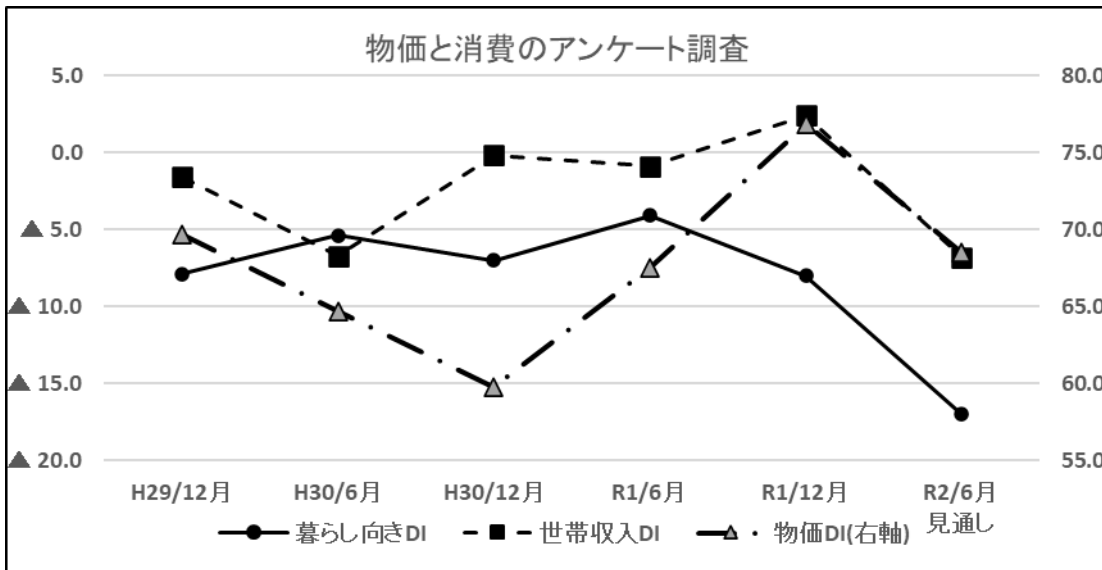
前期比	▲	不変	●	好転	×	悪化
県内景気天気図	R1/6	R1/7	R1/8	R1/9	R1/10	R1/11
現在の景気	●	▲	×	▲	▲	×
3か月後の景気	×	×	▲	▲	×	▲
生産活動	×	×	●	×	●	×
個人消費	●	●	×	●	●	×
民間設備投資	●	●	●	×	×	×
住宅投資	●	●	×	●	×	●
公共投資	●	●	×	●	●	●
雇用情勢	●	▲	×	×	×	×

③ 概況（令和元/10-12月）

R1/10	緩やかな回復基調に減速感がみられる
<p>製造業の生産活動は米中貿易摩擦による影響や消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減に伴う生産調整などから伸び悩んでいる。需要面では、個人消費の一部では消費税関連の駆け込み需要がみられ、小売業態全体では堅調に推移し、住宅投資や公共投資は再び増加したが、民間設備投資は伸び悩んでいる。従って県内景気の現状は、緩やかな回復基調に減速感がみられる。</p>	
R1/11	緩やかな回復基調にあるものの弱含みで推移
<p>製造業の生産活動は米中貿易摩擦の影響による伸び悩みが続いているものの、在庫の積み増しなどから広範囲な業種で前向きな動きがみられる。需要面では、個人消費の一部で消費税関連の駆け込み需要が顕在化し好調な伸びがみられたが、これは需要の先取りであるため消費税率引き上げ後の反動減と均して見る必要があり、基調としては厳しい状況が続いていると考えられる。また、公共投資は増加したが、民間設備投資と住宅投資は伸び悩んでいる。従って県内景気の現状は、緩やかな回復基調にあるものの弱含みで推移している。</p>	
R1/12	緩やかな回復基調が続いているものの弱含みで推移
<p>製造業の生産活動は米中貿易摩擦の影響による伸び悩みに加え内需の弱含みがみられ、一進一退の状況が続いている。需要面では、個人消費において消費税率引き上げ後の反動減がみられるが、前月の駆け込みと均してみると増加しているというものの、反動減が長引く可能性もあるため、基調としては厳しい状況が続いていると考えられる。また、住宅投資と公共投資は増加したが、民間設備投資は減少が続いている。従って県内景気の現状は、緩やかな回復基調が続いているものの弱含みで推移している。</p>	

④ 物価と消費のアンケート調査結果

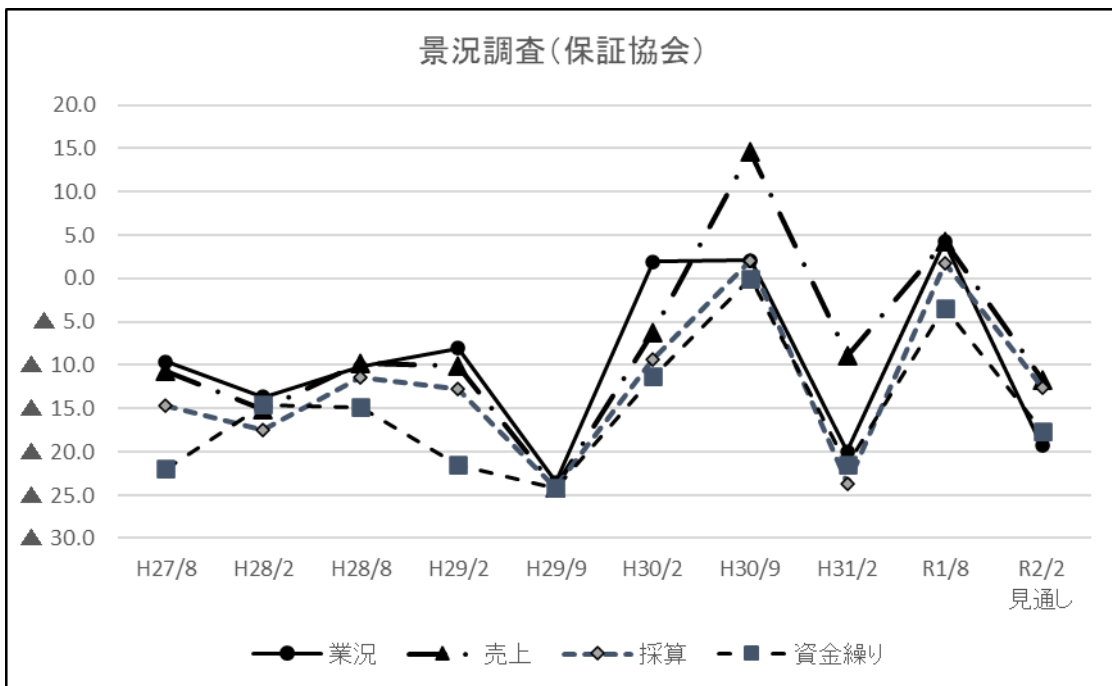
毎年 6, 12月	滋賀銀行本店に来店の県内在住の女性対象	評価4段階法
R1/12実績	・ R2/6見通し	
概況	「暮らし向き」12月季としては、5年ぶりに悪化	
暮らし向きDI	前期比で悪化。12月季の推移でも悪化に転じる	
世帯収入BI	調査開始以降、初めてプラス水準に	
物価DI	2期連続で上昇し+70を超える	



3. 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

① 景況調査結果 (R1/8)

配布数	500	調査期間	令和元年8月		
業種		製造	21.8%	サービス	21.0%
建設	19.3%	小売	16.8%	不動産	6.7%
卸売	5.0%	運輸通信	2.5%	その他	5.9%
従業員数		5人以下	61.3%	6~20人	27.7%
21人以上	10.9%	不明	0.0%	回答数	119



4. 内閣府調査資料

地方経済動向(近畿)

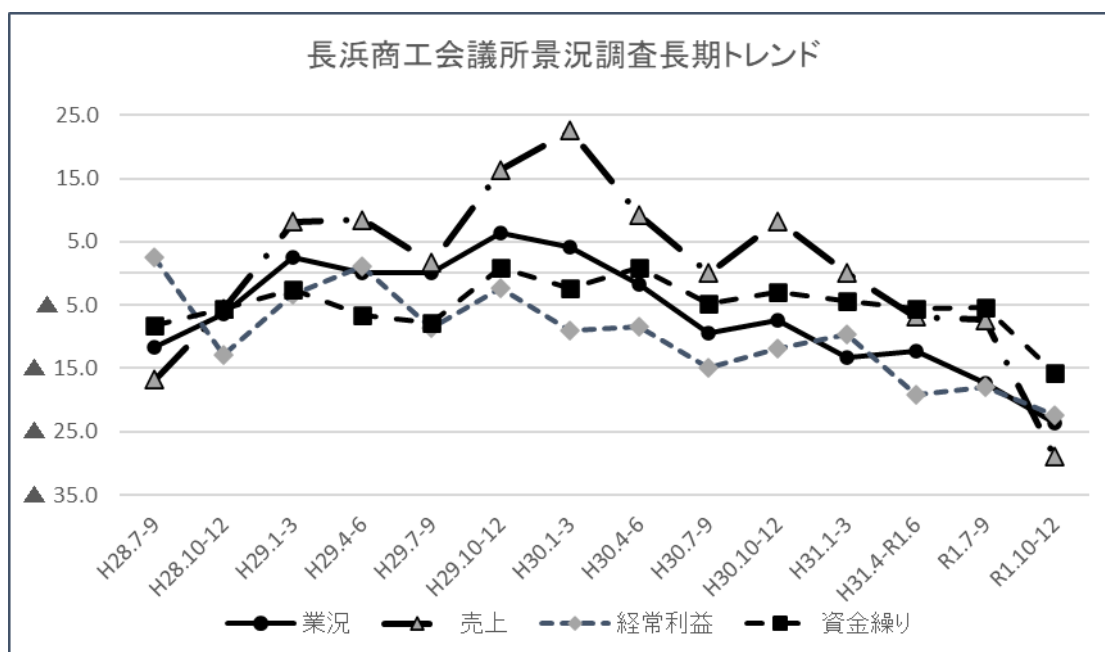
令和元年 11 月

近畿地域では、景気は緩やかな回復基調が続いている。

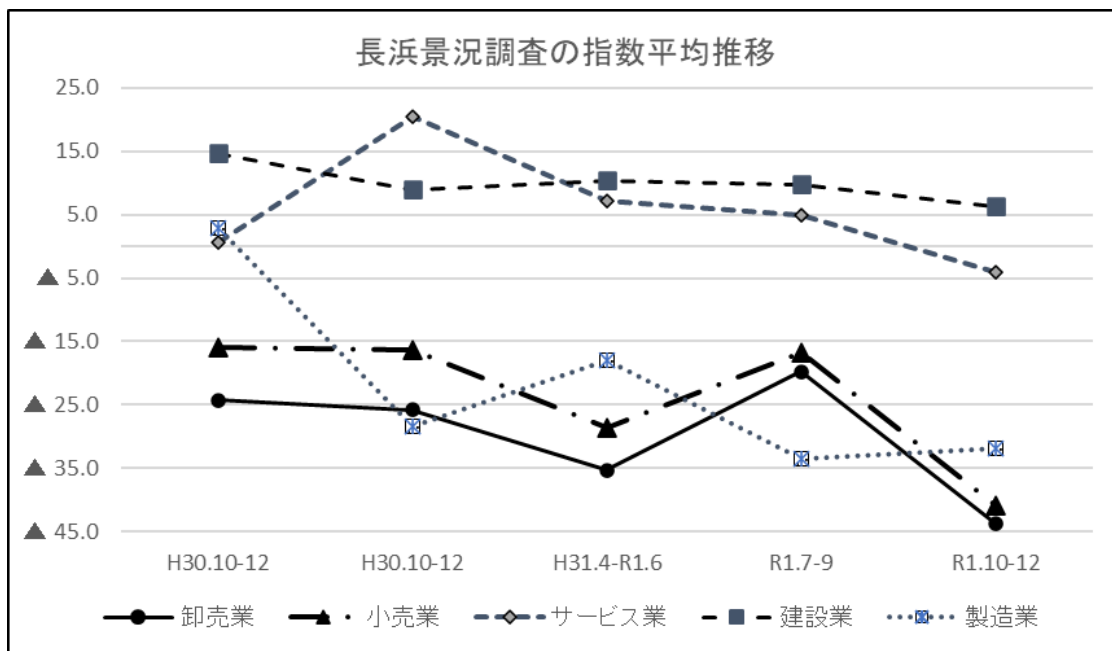
- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は改善している。

5. 参考データ

①長浜商工会議所景況調査長期トレンド

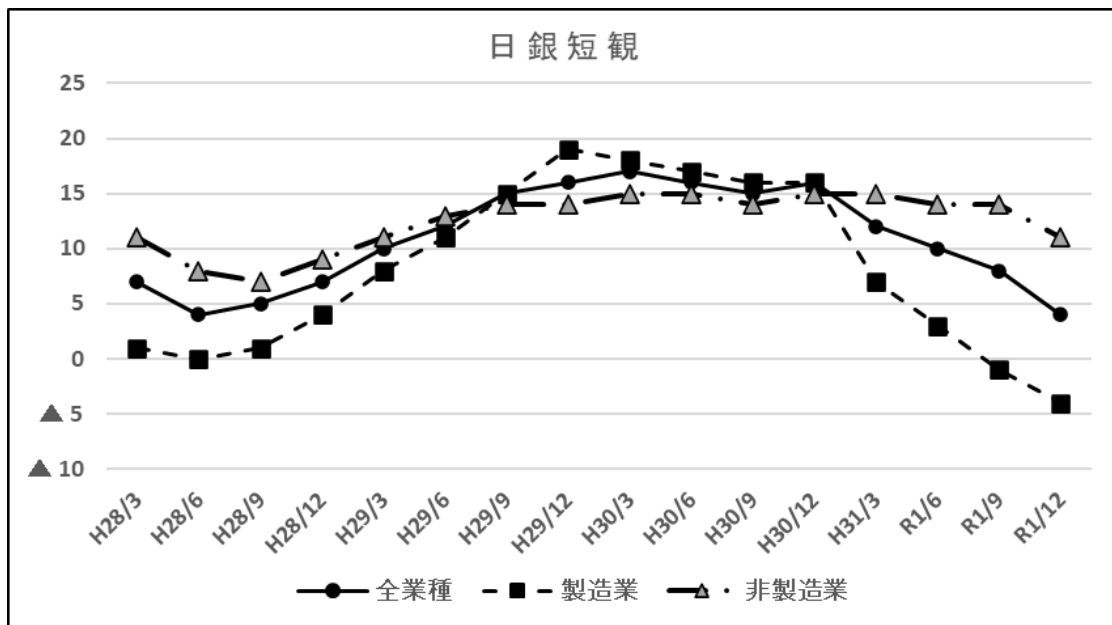


②長浜景況調査の指数平均推移



注) 指数平均は、売上高、業況、採算、資金繰りの各指数の平均値

③ 日銀短観業況 DI の推移



(中小企業診断士 南 肇之)